

第 4 回 定 例 会

# 市 長 行 政 報 告

平 成 3 0 年 1 1 月

北 広 島 市

平成30年第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 平成30年北海道胆振東部地震の対応について

まず始めに、9月6日に発生した北海道胆振東部地震によりお亡くなりになられた方々に対しまして、お悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に改めまして心からお見舞いを申し上げます。

地震から間もなく3か月が経過するところではありますが、10月1日に、その復旧と復興に向けた専任の部局を設置し、引き続き被災された方々への支援に向けた取組を進めているところでもあります。

被災された方々の住居の確保につきましては、みなし仮設住宅を希望された全世帯の入居が完了したところでもあります。また、避難所で生活をされていた方々につきましても、11月6日に全ての方が避難所を退所され、同日をもちまして全ての避難所を閉鎖したところでもあります。

また、多くの団体、個人、企業から寄附金や義援金、物品の寄附、炊き出しを行っていただいておりますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。寄附金につきましては、災害復興に活用させていただくとともに、義援金につきましては、11月15日現在、住家に被害がありました33世帯を対象としまして、合計1,020万円の交付を終えているところであり、寄せられた義援金の全ての配分を終えるまで、引き続き追加交付等を行ってまいります。

市内において最も地震による被害の大きかった大曲並木地区につきましては、有識者とともに原因の調査と今後の対策に係る検討を進めており、11月11日には第2回目の地元住民の方々を対象とした説明会を開催したところでもあります。

今後につきましても、引き続き被災された方々の生活の再建と被災地の復興に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。

## 2 北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク誘致について

次に、北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク誘致についてであります。10月31日に「きたひろしま総合運動公園予定地」が建設地として決定いたしました。

平成28年6月に誘致を表明して以来、市民の皆様と一丸となった誘致活動や応援活動を行ってまいりましたが、内定の際に球団から示されたとおり、今も変わらぬ地元の熱意や地域の方々の賛同が、今回の正式決定の大きな後押しになったものと考えているところであります。

ご協力をいただきました市民の皆様や議会の皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。

2023年春に北広島市に誕生するボールパークは、前例のない様々な仕組みを取り入れ、新たな「北海道のシンボル」として、道民の皆様、市民の皆様に夢と希望を与える施設となります。

本市においても、3月の内定以降、北海道に設置されたプロジェクトチームとの連携を図るとともに、組織改編により体制を強化し、関係機関と日常的に協議を重ねてきたほか、球団とはこれまでに8回の全体会議を開催するなど、このたびの正式決定に向け、着実にその取組を進めてきたところであります。

ボールパーク構想の実現は、スポーツ・文化の発展、また、希望都市、交流都市、成長都市を目指す本市のまちづくりに大きく寄与するものであり、引き続き、球団や関係機関と協議を進めてまいります。

また、ボールパーク推進期成会による啓発、応援活動により、開業までの機運をさらに高めていくとともに、市民説明会の開催などによる情報提供に努め、ボールパークからもたらされる価値と機会を多くの方々に感じていただけるよう、今後につきましても、市民の皆様と一丸となって構想実現に向けて取り組んでまいります。

### 3 福祉灯油特別対策事業について

次に、福祉灯油特別対策事業についてありますが、現在においても灯油価格が高止まりしており、冬季間における暖房等の使用が家計を圧迫する大きな要因になるものと考えております。

このことから、高齢者や障がい者、ひとり親家庭の市町村民税非課税世帯及び生活保護世帯に対し、経済的な負担の軽減を図るため、灯油等の購入費の一部を支援することといたしました。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

#### 4 次期総合計画の策定について

次に、次期総合計画の策定についてであります。2021年度からスタートする総合計画の検討を進めていくため、8月に20代、30代の若手職員で構成するワーキンググループを設置し、10年後のあるべき姿や未来を描き、その実現に向けてどのようにまちづくりを進めていくのか議論を行ってきたところであります。

また、総合計画の策定にあたっては、市民の皆様のご意見をいただくため、市民意識調査や団体意識調査等を実施しているほか、11月3日からは、無作為抽出による1,000名の市民のうち、会議への参加を希望していただいた方々の中から、地区や年代を考慮して選出した30名を対象に、市民会議を開催しているところであります。

会議では、まちづくりに関する基調講演のほか、参加者が5つのグループに分かれ、今後のまちづくりをテーマとしたグループ討議を行い、日頃の生活で感じていること、まちづくりに関するご意見などが出されたところであります。

いただいたご意見などにつきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきますほか、次期総合計画の基礎資料に生かしてまいりたいと考えております。

## 5 子ども夢チャレンジ応援事業について

次に、子ども夢チャレンジ応援事業についてであります。次代を担う子どもたちが懐く夢の実現に向けたチャレンジを応援する取組として、応募をいただいた423件のうち3件のチャレンジについて支援を決定し、本人やサポートをいただく関係者の皆様と調整を進めてきたところであります。

このたび、酪農家を目指す西部小学校5年生のこすけがわ小助川まひろさんは、8月8日から10日まで中頓別町のとくら十倉牧場を訪問し、牛の世話を体験したほか、10月4日には酪農学園大学で牛舎の構造や牛の生態について学んだところでもあります。

また、女子プロ野球選手を目指す大曲中学校2年生のもりかわさな森川紗菜さんは、9月17日に女子プロ野球チームの「埼玉アストライア」を訪問し、憧れである女子プロ選手から直接指導を受けたほか、10月13日、14日に開催された野球大会に、女子中学生合同チームの一員として出場したところでもあります。

また、パン職人を目指す西の里中学校3年生のあいた會田さくらさんは、8月2日にパンの主な原材料である小麦粉について勉強するため、江別製粉を訪問したほか、10月12日には「どんぐり大麻店」で、パンの成形や接客を体験するなど、チャレンジを実現したところでもあります。

なお、12月22日に芸術文化ホールにおいて、チャレンジ報告会を実施することとしております。

## 6 未来へつなぐ米の歴史発信事業について

次に、「未来へつなぐ米の歴史発信事業」についてであります。北海道命名150年の節目に、寒地稲作発祥の地である本市において、10月20日、芸術文化ホールで講演やパネルディスカッション、トークショーなどを開催したところであります。

当日は、延べ500人を超える方々にご来場いただき、これまでの歴史や先人の偉業を振り返り、未来に向けて「北海道米」の新たな一歩を踏み出す契機になったと考えております。

開催にあたりましては、北広島商工会、北広島消費者協会、道央農業協同組合をはじめとする多くの団体等に、ご支援・ご協力をいただいたところであります。

## 7 市道輪厚中央通線及び西部パークの供用開始について

次に、市道輪厚中央通線及び西部パークの供用開始についてであります。防衛省の補助制度であります北海道大演習場周辺整備統合事業により平成25年度から事業に着手し、本年10月9日に供用を開始したところであります。

このことにより、西部地区における道路網の充実や生活環境の改善が図られたものと考えております。

## 8 平和都市宣言30周年記念事業について

次に、平和都市宣言30周年記念事業についてであります。本年は、昭和63年に本市が平和都市宣言を行ってから30年の節目の年となりますことから、あらためて平和の尊さ、大切さを考えていただく機会として、平和に関する標語の募集及び記念プレートを作成したところであります。

標語につきましては、市内小中学生から1,155点の応募があり、8月から9月にかけてエルフィンパーク交流広場や庁舎5階ギャラリーなどにおいて展示いたしました。

11月10日には庁舎2階ロビーにおいて標語の表彰式を行うとともに、平和都市宣言の全文を掲載したプレートを庁舎2階に設置し、そのお披露目を行ったところであります。

今後につきましても、平和都市宣言の精神に則り、平和の尊さや恒久平和の実現に向けて普及啓発に努めてまいります。

## 9 六次産業化等の取組について

次に、六次産業化等の取組についてであります。グリーン・ツーリズムの推進に向け、農業経営の多角化や農業所得の向上を目的に、本年度、農業者等が行う施設整備や商品開発等に対する補助制度を創設したところであります。

これまでに、2事業者から農産物直売所等の施設整備及びトマトを活用した商品開発の申請があったところであります。

今後につきましても、農業者等に対する支援や商工業連携等を推進し、農業の活性化に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。



## 10 平成30年7月から9月までにおける寄附について

次に、平成30年7月から9月までにおける寄附についてですが、現金による寄附につきましては個人・企業などから3件、380万円、物品の寄附につきましては車いす1件となつているところであります。

「ふるさと納税」につきましては、7月から9月までの3か月間で、395件、5,116,800円の寄附をいただいているところあります。

また、災害復興を目的とした寄附につきましては、企業などから3件、140万円の寄附をいただいているところあります。

ご寄附をいただきました皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本市のまちづくりのため、大切に活用させていただきたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。